

令和3年度 学生による地域活性化プログラム【活動紹介】

生島ゼミナール

長岡市摂田屋地区の魅力を高め、観光客を増やし、地域活性化を図る



【参加学生】 17名(3年生4名,4年生13名)

4年生 岩城優希、大港樹、岡田大輝、岡本猛、河田海、小池慎一郎、小海友希、高橋凜、長橋伊吹、中村瑞穂、樋口知恵、吉澤瞳、渡邊衣舞希
3年生 青山竜也、佐藤将貴、高橋那優、平山瑠伽

本ゼミナールでは、長岡市摂田屋地区に焦点を絞り、この地域における「観光まちづくり」をどのように進めれば、地域の活性化を図れるのかを研究している。

昨年の活動では、7月に摂田屋の現地調査を行った。現地調査で気づいた発見、感想、意見をとりまとめ、マップを作製した。摂田屋の現状、魅力、課題の3つのパターンに分けてマップに落とし込んだ。

その後マップおよび調査内容を基に SWOT 分析を作成した。内部要因を産業、歴史文化、観光の3つの視点から評価した。外部要因では PEST 分析のフレームワークを利用して、政治的要因、経済的要因、社会的要因、技術的要因の視点から分析を行った。「クロス SWOT 分析」によって解決策を明確化した。

今年度は、解決策の中から具体的な取り組み課題を選び、実施計画を考え、実行に移すこととした。

【アドバイザー】

機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会 事務局長 平沢政明 氏
長岡市観光・交流部観光企画課 課長補佐 小林 隆 氏

◆ 今年度は、昨年の分析結果を踏まえ、摂田屋の認知度を高める活動を実施

I. 情報発信

a. 摂田屋 HP 作成

摂田屋 HP 作成チームでは、摂田屋にある醸造企業の紹介や、摂田屋を回る際に使用してもらう散策コースを QR コードで示すことを目標としています。年間計画では、Web 作成、アンケート作成から集計、記事作成の3つに大まかに分け、並行して作業しています。前期は Web の作成と記事の作成を進め、9月にホームページの公開を目指しています。

b. インスタグラムでの情報発信

情報発信チームインスタグラム組では、今年度は摂田屋の各醸蔵の商品に焦点を当てて取材を通して Instagram を投稿し魅力を発信しています。月2回木曜日投稿をおこなっており、摂田屋の魅力をより分かりやすく魅力的になるように心がけて発信しています。



II. イベント開催

a. フォトコンテスト実施

イベントプロジェクトチームでは、今年度摂田屋フォトコンテストを開催します。

フォトコンの開催趣旨

長岡市摂田屋地区は、幕末の戊辰戦争や第二次世界大戦の空襲の被害を免れ、歴史ある街並み、古くからの土倉が残っています。

摂田屋周辺では「酒・味噌・醤油」といった醸造業が盛んであり、また、集積しています。

今回は「摂田屋の魅力を知ってもらいたい」との思いからフォトコンテストを実施することといたしました。

募集期間は 2021 年 9 月 1 日(水)~10 月 31 日(日)までです。

令和3年度 学生による地域活性化プログラム【活動紹介】

武本ゼミナール

長岡市の魅力 × ラジオ番組 × 持込企画

災害など有事の際にニーズの高まりをみせるラジオ媒体。

コロナ禍という前例のない非常事態にある今だからこそ、ラジオの特性を十分に活かし、学生ならではの視点による長岡市の魅力を発信していく。

主体性を重視する意味から少人数でのチーム制を取り、「持込企画」として番組案を練った上で、不採用もある前提でラジオ局編成担当者にプレゼンテーション。

採用された番組企画は生放送として実際のラジオでオンエア。

当ゼミでは「FM ながおか」の全面協力により実施。



【参加学生】 12名(3年生12名)

池山宥斗、石田優斗、杵渕恭佑、齋藤涼馬、佐藤健、土居稜宗
外山真衣、二國楓加、野村真子、早津マリア蓮、諸橋悠真、渡辺航平

長岡の魅力ってなんだ？番組のテーマは？企画コンセプトは？
チームでの役割分担は？そもそもこの番組、聴いていて面白い？
・・・などなど。
武本ゼミは＜主体性＞が全てです。

高島ゼミナール

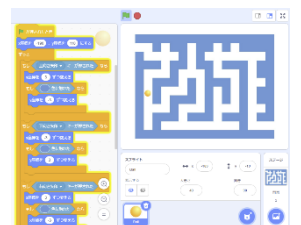
小学生のプログラミング教育を通じた地域活性化活動

R3年度は本ゼミの活動初年度にあたる。また、小学校のプログラミング教育必修化から1年が経過したタイミングである。そこで本年度は、パイロット版のプログラミング教室の実施と、小学校のプログラミング教育状況の情報収集として以下の2点が主な活動目的となる。

- ・小学生向けプログラミング体験教室の実施(11月開催予定)
- ・長岡市内小学校教員に向けてのプログラミング教育必修化に伴うアンケート調査・分析の実施

チームを教室企画、参加者募集、アンケート調査の3グループに分け、それぞれフローや実施内容を考えながら活動している。

※本活動は長岡市教育委員会にもご協力いただいております。



夏季休暇中に実施したプログラミング
教室の模擬授業風景(講師は学生)

教室用の試作プログラム
迷路探検ゲーム

【参加学生】 12名(3年生12名)

19K003	五十嵐 麗藍	19K019	岡田 尚輝	19K021	小川 優作
19K051	清水 優太郎	19K060	高橋 侑希	19K071	土田 侑真
19K080	中村 恵理	19K081	中村 元哉	19K084	荻澤 晴菜
19K099	松下 竜大	19K114	若井 奈津	19K118	渡部 さくら

(ゼミ生から一言)

私たちは、小学生にプログラミングを楽しむ経験を通して情報技術を学び、きっかけづくりを目指しています。小学生に楽しんでもらえるよう、私たちも日々プログラミングを学びながら、体験教室の内容を考えています。